

## 第 101 回神奈川県立座間谷戸山公園 現場研修会報告

—テーマ :水辺環境の順応的管理—

9月の研修会では、水辺の順応的管理と、谷戸山公園のフィールド解説講座を実施しました。



谷戸山公園の里山体験館の前にあるサルスベリの花は満開を迎えていました。  
朝から気持ちがなごみます。



まずは講師から本日の研修内容についての説明です。

谷戸山公園は、失われつつある里山の環境をコンセプトにした公園です。  
公園管理にあたり、「いかに里山の環境を保っていくか」が難しく、将来どのような自然環境になるのか、  
どうしていくのかの視点を持って作業をおこなうことが大切だというお話しをして頂きました。



午前中は湿生生態園での研修です。。



作業後、水路の上空を覆っていたヨシが無くなり、水面も見やすくなりました。



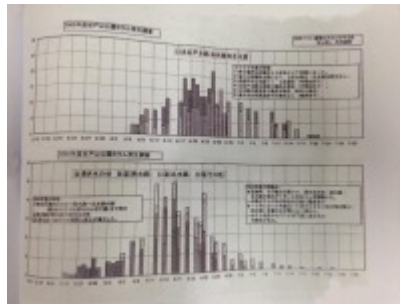
ここで、今年3月頃まで研修を実施していた皆伐更新に関する書籍をご紹介します。

講師のお勧めです！皆伐更新にご興味のある方は是非。

「里山の広葉樹林管理マニュアル 津布久 隆著 全国林業改良普及協会」

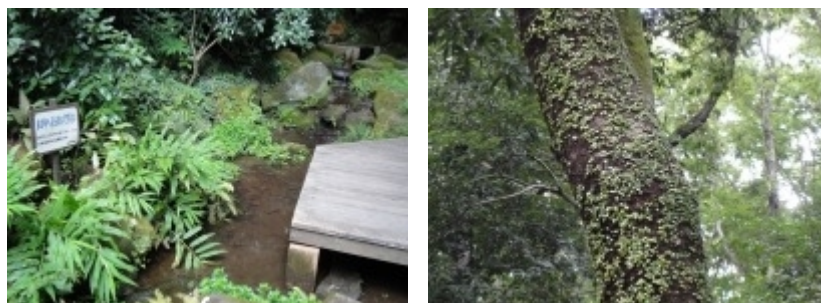


お昼休憩が終わったら、環境に関する気になるニュースの発表です。  
地球温暖化の話から、富士山のトイレの話まで…と、幅広く話題が上がり、参加者の皆さんで議論していました。



午後は、公園のフィールド解説講座です。  
上の写真、見にくくて申し訳ないのですが、2004年～2005年のゲンジボタルの発生状況の表です。

2013年の今年は確認数が半減しているとのことでした。  
今年の調査で分かった、地下水の富栄養化が原因の一つかもしれないとお話がありました。



最初のフィールドは湧水の谷です。  
左の写真は、湧水が流れる最初の地点。右の写真は、なぜか谷戸山公園では湧水の谷のこの場所でしかみられないマメヅタです。



次のフィールドは北谷戸の水路。

昨日の大雨で水路の水量は多いのですが、年々水位が減ってきています。  
また、水路の上に枝が覆い被さってしまっているため、水路に光が届きにくく落ち葉が溜まり、  
水路が埋まってしまう恐れがあります。

去年は、こちらでシラカシなど常緑樹の間伐の研修をおこなっていました。



最後のフィールドは、今年研修をおこなっていました皆伐更新地区です。  
夏の間成長し、私たちの背丈をすっかり越えてしまった樹木をかき分け中に入っていきます。  
皆伐更新地区では、実生の成長具合などを確認していきました。



これで、本日の研修は終了です。

来月は谷戸山公園研修 100 回を記念しまして、山梨県芦川で、芦川塾が開催されるため、谷戸山公園での研修会はお休みです。

芦川塾での研修内容も後日報告いたしますので、是非ご覧ください！